

会 議 要 録

会 議 名	第1回旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会	
日 時	平成21年12月25日(金) 午後 6時30分～8時30分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 9階 904会議室	
出席者氏名	委 員	並木勇、宮瀬睦夫、山本通陽、深沢靖彦、青木訓行、梶原るみ子、小林隆宣、志村勝、西田和夫、天賀谷通忠
	事 務 局	大野哲宏、大塚哲二、瀬尾和子、岡部宙、逸見洋平 豊田聡、大西健二、山崎啓右 坂倉進 薦谷英司、宮崎静雄、田中絢子、矢島耕太、藤田龍（UR都市機構）
欠席者氏名	森泰男、石川和樹、狩野俊昭（代理出席：吉田智之）	
次 第	1 委員就任依頼 2 副市長あいさつ 3 開会 ・副座長の指名 4 議題 (1)会議の開催方法等について……資料1、2、3 (2)旭町・明神町地区周辺まちづくり検討の進め方について……資料4、参考資料1 (3)旭町・明神町地区周辺まちづくりの現状・課題について……資料5 (4)旭町・明神町地区周辺まちづくりのコンセプトについて……資料6 5 その他 6 閉会	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	なし	
配付資料名	資料1 旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会設置要綱 資料2 旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会委員名簿 資料3 会議の公開に関する指針 資料4 「旭町・明神町地区周辺まちづくり」検討の進め方 資料5 まちづくりイメージ検討資料1（上位計画、現状・課題等） 資料6 まちづくりイメージ検討資料2（まちづくりのコンセプト(案)） 参考資料1 中心市街地における新規プロジェクト	

1 委員就任依頼

懇談会委員へ就任依頼書の交付（岡部副市長）

2 副市長あいさつ

岡部副市長あいさつ

3 開会

旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会設置要綱第4条第3項の規定に基づき、座長（西田委員）の指名により副座長は宮瀬委員に決定。

4 議題

（1）会議の開催方法等について

〔事務局：資料3に基づき説明〕

ア 会議の公開・非公開について

原則公開。非公開事項に該当する議題は懇談会に諮り非公開とすることができる。

イ 議事録の作成について

会議録は要点のみとし、各委員が確認した後に公表する。

ウ 委員名簿の公表について

資料2のとおり公表する。

エ 代理出席の扱いについて

やむを得ず委員が欠席する場合、同じ所属団体からの代理出席を可とする。

（2）旭町・明神町地区周辺まちづくり検討の進め方について

〔事務局：資料4、資料5の1ページ、参考資料1に基づき説明〕

懇談会においては平成22年3月までにまちづくりのコンセプトや方向性、まちのあり方等を整理したまちづくりイメージを作成する。

平成22年度には学識経験委員を加えた新たな検討委員会を結成し、まちづくりイメージを基本としてより具体的な方針、実現手法等を加えたまちづくり構想を検討していく。

（3）旭町・明神町地区周辺まちづくりの現状・課題について

（4）旭町・明神町地区周辺まちづくりのコンセプトについて

〔事務局：資料5、6に基づき説明〕

座長：まず、まちづくりの課題について、委員の発言をお願いしたい。

委員：東京都の多摩シリコンバレー構想もあるが、八王子市においてもTLO関連組織やTAMA協会などがあり、ITを関連させた事業体も増えてきている。また、まちづくり構想検討区域は京王八王子駅とJR八王子駅の間地点という好立地であるので、こうした視点を積極的に構想の中に取り入れて、商業・産業など市の中心的な役割が担える特色ある施設誘致ができればいいと思う。

委員：平成元年に鈴木元都知事が八王子を見たときにいよいよこの地区で何かやっていただけるの

かという思いがあった。その頃からこの地区に対する思いが非常に強く、やっと、この地区の案件を聞くような会ができたという思いがある。平成 15 年 3 月の八王子市中心市街地商業等活性化基本計画、平成 20 年 3 月の八王子市中心市街地等活性化検討委員会の提言書作成にも関わった経緯があるが、旭町・明神町地区には八王子市民や多摩地域の人たちの強い思いがいろんな面であり、この懇談会の中でいろいろと話をしたい。

平成元年に京王八王子駅が地下化になったが交通体系の見直しを是非、駅の周辺の中でこの旭町・明神町も含めてやらなければならないと思う。またアイロードの道路も広くはなったが、バスを含めた交通体系は十分ではなく、周辺に狭い道路もある。

また、京王線が地下化になる前には一時 JR と京王と駅を結ぶ話もあったが、八王子の JR と京王の駅は離れており、そのことが面的な広がりの中でいい要素を生み出すのではないかと考えている。

委員：旭町・明神町地区は、20 年も 30 年も前から京王八王子駅と JR 八王子駅の間の人の流れを活用できないかということを言われてきた。産業技術研究センターや合同庁舎の土地を有効に活用すれば、八王子の中心地になるだろうということを我々も若いときから言ってきたが、それが実現、実行できないでいた。このたび産業技術研究センターの移転により新たな様変わりが出来そうな気配があり、まさに八王子の最後の期待の場所である。

したがって八王子のいろんな意味での中心になるようなそんな拠点づくりのために、かなり煮詰めた計画づくりが必要と思う。東京都は産業交流拠点を設置しようとしているが、それにとどまらず八王子市、あるいは多摩地区の文化面もこの中に含めて考えることも必要だろう。また、商業面でも、そこに人が集まるだけでなく、新たな商業、あるいは文化を発信する、多摩の中心となるような拠点になって欲しい。

その実現のためにはいろいろな課題があり、その一つが、交通に関して JR 八王子駅、京王八王子駅の双方にスムーズに車で行けないという課題であり、本懇談会においてそういう課題を含めて考えていきたい。

委員：本懇談会に期待すると同時に我々の世代が次の世代によりよい形で残していく明るいまちづくりを検討していただきたい。京王八王子駅周辺は賑わいがあり、乗降客も増えているだろう。その機会を逃さないことが商店会の活性化にもつながる。

交通に関しては案内する場所が不足していて、また、行く場所がわかりづらいという声もある。

また、京王八王子駅周辺は、商店会と町会が一体となって頑張ってきたおかげでパチンコ屋が一軒あるだけで風俗店が一軒もない。そういうまちづくりも継続していくことが必要と思う。

委員：商業施設が一箇所できたとしても他の場所がだめになることがないようにしたい。旭町・明神町地区において産業交流拠点とかを整備する中で単純な商業施設をつくるのではなく、八王子にしかないオンリーワンという視点が必要と思う。市外から人を集める新たな魅力を創出できるようなものが必要と思う。

委員：仕事場が近くにある関係で、旭町・明神町地区周辺は仕事や通勤で歩いたり遊ぶこともあるが、京王八王子駅と JR 八王子駅の間の人通りはかなり多いと感じている。例えば会社帰りに立寄ったり、ご飯を食べにいくとか、そういう施設が近くにできれば、働く人達にとっては便利になるだろうと思う。基本的には一箇所で済むような場所があって欲しい。

委員：産業技術研究センターの移転をマイナスにとらえず、東京都の多摩シリコンバレー構想の中

で産業交流拠点を設置するというところまで計画が進んできた。中心市街地において残された本懇談会の検討区域が核となって中心市街地が発展していくきっかけにしたい。様々な課題があると思うが、できることできないことを整理して、いい結果を出していくことが重要である。課題の抽出と整理によって、みんなが納得できるようなものができればと思う。

委員：東京都の産業技術研究センター跡地で開発の計画があるが、昭島市の多摩テクノプラザとの役割の違いとして八王子市の産業交流拠点としてはコンベンションホールが想定されている。その中で中心市街地の中に置かれるという意味合いを八王子市としてはきちんと考えないといけない。ビジネスの関係者だけでなく、中心市街地に集まってくる人たちも利用できるような相乗効果を狙えるような施設を望めば東京都との話し合いも変わってくる。八王子市だけでなく多摩地域という視点でとらえなければならぬ課題もあるだろうが、八王子市なりに整理した中で、それを関係者に返して整理をしながら産業交流拠点の整備を考えていきたいと思う。

委員：私としては、さきほどから話がでていて、交通体系をなんとかしていなければいけないと思っている。旭町・明神町地区の中を考える際には、もう少し大きな周辺の道路整備が非常に大きな課題であり、整備には財源が相当必要となる。望ましい交通体系は本来こうあるべきだというものをつくりたいと思っているが、地区開発のスケジュールと整合しない部分もあり、そのことも大きな課題だと認識している。

委員：懇談会の中で考えなければならない一番重要なことは、東京都の産業交流拠点を懇談会でどのように捉えるかを検討し、東京都に対する投げかけを懇談会で行っていくことと思う。東京都は旭町・明神町地区で一番大きな土地所有者であり、東京都の考えをしっかりと把握しなければならない。

私ども商工会議所では JR 八王子駅、京王八王子駅、東放射線アイロード、市の駐輪場、東京都所有地について考えたが、もっと区域を広げて考えるべきだろうと思う。

それから東京都の産業交流拠点設置を考えると、大型車を含めて交通量がかなり増えることが想定される。交通体系は市全域で総合交通体系として広く考えるべきだと思うが、小さな区域として考えても、例えば国道 20 号、かえで通り、南大通りそれから国道 16 号で囲まれる区域で考えなければならない。その区域の中で交通体系を考えると、現在の交通体系ではまったくだめで、これから土地を買収して道路を拡幅するというのも計画だけで終わってしまう気がする。したがってこれから動き出す、旭町・明神町地区の土地とその周辺を考えていくべきだと思う。

また、商工会議所ではこの場所は八王子の中で最後に残された場所で、個性豊かなまちをつくりたいと考えている。具体的にひとつだけいうと、都市広場を設けたい。八王子には駅前広場はあるが都市の中の広場がないので、アイロードと JR 八王子駅、京王八王子駅を結びつける広場をつくるのはどうか。名古屋のオアシス 21 は少し駅から離れているが、バスターミナルやイベントもできる広場があり、屋上の水を張ったガラスの天蓋の上にもあがれるなど、周辺と一体になって大変すばらしい場所である。同様に京王八王子の地下駅から JR 八王子駅を中心とする旭町・明神町地区の一部にも都市広場を設けて駅同士を結びつけることが望ましいという考えをまとめている。そのほかの機能についての商工会議所の案もあるが、東京都の考えを把握しながら提案していきたい。

座長：旭町・明神町地区について、東京都とは、昨年、まちづくり連絡会を設置して、東京都都市整備局、産業労働局と八王子市まちづくり計画部、産業振興部の 4 者で情報交換をしている。

今、お話があったように、東京都がここをどのように考えているのかは、非常に重要な話であり、東京都の整備に合わせて、市の活性化に資する拠点化を進めていかなければならない。事務局のほうから、現状について、東京都の今の考え方をわかる範囲で報告をお願いしたい。

事務局：東京都は都市整備局と産業労働局の両局とも委託調査を行い、検討している。都市整備局は、平成 20 年度及び今年度に調査をしており、旭町・明神町地区における地区開発の事業成立性に重点をおいて検討している。また、産業労働局は、産業交流拠点の機能・規模等の具体的な検討を実施している。

現在の状況としては、都市整備局と市で都市基盤整備についての意見交換を実施している。大きな課題はやはり交通問題であり、アイロードの今後の整備等について議論している。

産業交流拠点についてはまだ具体的な内容が産業労働局から示されていない。産業交流拠点については商工会議所等にヒアリングを行ったことも聞いている。また産業交流拠点の形態、広さ、運営方法については東京都が検討中だが、単なる産業交流拠点だけではなく、まちの賑わいにどうやってつなげていくか、いかに施設の回転効率をよくして賑わいに繋げていくかという視点で検討していると聞いており、今後も機能等について議論していきたい。

座長：事務局から説明があったが、東京都が調査を実施して考え方をまとめようとしており、本懇談会でまとめた地元意見の反映が間に合わないことがないように、東京都のスケジュール感にあわせて懇談会の検討を進めていかなければならない。したがって、今年度の懇談会で一定のまちづくりイメージをつかみ、平成 22 年度中に検討委員会でまちづくり構想をまとめて、東京都に対する地元八王子市としての考え方を発言していかなければならないと思う。

東京都の状況についてほかにご質問は。

委員：労働基準監督署の移転の話もあるが、なにか動きがあるのか。

座長：市が情報として知っているのは、今の法務省の跡地につくる国の法務合同庁舎の中に入る官署として労働基準監督署も入っているということ。今の状況からは、平成 23 年ぐらいに、法務省跡地に国の法務合同庁舎ができ、労働基準監督署、税務署、法務局の 3 つが入る方向で国も動いており、労働基準監督署はそこに移転すると考えられる。

これまでの委員の皆様のご発言でまちづくりの課題について資料 5 に挙げられているものを含めていくつかのご意見をいただいた。

次に、こうした課題を踏まえながら 12ha のまちの将来像を来年度の検討委員会で議論していく上でのイメージを本懇談会で固めるようにコンセプト（案）を考えていただきたい。

まちの将来像については、旭町・明神町地区が早ければ 10 年後ぐらいに開発された形が見えてくると想定しており、そこから 5 年ないし 10 年ぐらいのところを見据えてまちづくりのコンセプトを考えていただきたい。本日は資料 6 のコンセプト（案）の右側にあるまちづくりのキーワードを出していただくところまで進めたい。資料 6 に視点やまちづくりの考え方（案）が出ているが、この内容やキーワード等をできるだけ意見を出していただき次回以降のコンセプトづくりにつなげていきたい。このコンセプト（案）についてご意見等はないか。

委員：少し戻るが、資料 5 の課題はどちらかといえばインフラなどの供給者側の視点が強く、もう少し需要者側のニーズみたいなものがあるのもいいと思う。我々も事業を行う際に我々の考えだけでなく、アンケート等により利用される方のニーズを把握する。供給者側と需要者側の両方の側面からコンセプトを検討することが必要ではないか。

また私も八王子市に住んでいるが、買い物するときにはよく南大沢に行く。なぜ南大沢に行

くのかと思うと、そこには楽しい賑わいや行ってみたいと思わせる施設がある。そういう意味で、活性化させるためには市内だけでなく市外からも人を呼び込まなければならない。そう考えると、ここにしかないもので賑わいをどうやって創出するかというのがひとつポイントになるのではないか。その中で、資料に地元からの期待ともあるが、外部の視点も考えて検討したほうがいいと思う。

委員：キーワードとしては単純に考えると、便利で商品がたくさんあって、綺麗で静かで賑わいもあって、と矛盾した言葉が入ってくるが、旭町・明神町地区は中心市街地の中であるので一番重要なことは、界索性や回遊性だと思う。ただし、居住者にとっては静かでないと困る。便利になったはいいけれども、やっぱり静かでないといやだという人たちも、まちづくりの中には出てくる。そこで我々が勝手にキーワードを挙げて、それがコンセプトにつながるかという難しい面がある。

まちのイメージとして、立川がすごくいいという人もいるが、私はそうは思わない。立川は駅を降りてホテルまで行く場合に、信号がなくまっすぐ行けて便利であるかもしれない。しかし、デッキの上から入る店は大きな店しかなく、軽く一杯飲むところは地面に降りないとなし。たとえば、原宿、銀座、丸の内など東京都内でいい駅、いいまちにデッキはない。また丸の内には地下道があるが、地下道を歩く人は地下道の上は見えていない。つまり便利さだけを追求すると人はまち中を歩かなくなるわけで、JRと京王八王子駅を地下街でつなぐと離れていても一駅になるが本当にそれがいいかどうか考える必要がある。あれだけ短い区間で地上に商店もあるのに、地下を歩かせると、地下に商店を作らない限りは誰も店には来ない。八王子でも北口のマルベリーブリッジ延伸を検討しているが、本来人間が歩くところは地面であり、ペデストリアンデッキなら途中まではいいが、両駅を橋でつなげることは絶対反対である。多少不便さがないと立川のようにまちの中に誰も降りていかなくなる。そのことをもう少しこの懇談会の中では考える必要がある。

また、回遊性については以前から八王子は目論んでいるが、回遊する人があまりいないのは、商品の品揃え等商店に魅力がないことにもある。商工会議所では個性豊かなショッピングができるようなものも取り入れたいと考えているが、東京都の産業交流拠点も含めて考えると大型車通行などの課題もあり悩ましいところである。

交通に関しては、たとえば表参道ではあれだけ人が歩いているのに横断歩道が1箇所しかなく、車はほとんど止められないので離れたところにとめて、また戻ってくるという状況であるが誰一人不便などの文句を言わない。八王子は中心市街地の中に、駐車場を整備したので中心市街地に公共交通だけでなく一般車両の流入を許容する方針となっている。しかし車と人間では人間優先であり、しかも中心市街地に店があって住んでいる人もいるとなると、歩けるということをも最大の武器にしないといけない。人間ではなく車が逃げるまちになってほしいと思う。

委員：旭町・明神町地区では東京都が最大の地権者であり、我々商店会も地権者ではなく外野の人間であるので、上位計画が進んでいく中で協力体制をとっていくことが必要と思う。たとえば八王子市としては周辺のまちづくり計画がまったくないということではなく、地元としての思いをうまく上位計画の中に入れていただくなどして欲しい。また、上位計画の実施段階ではより豪華に、すばらしく、魅力的にできないかということをお応援していくべきだと思う。懇談会であまり具体的な整備内容等を決めるということではなく、ある程度上位計画の中に取り入れてほしいことなどを提案するなど、固定的なものではなくイメージ的なものを作るのが我々の

責務ではないか。かつては商店街が反対することをすれば成功すると言われた時代もあったが、今では商店街の方もまちの活性化について積極的に考えていく機運もできており、うまく応援団になればと思っている。そう考えると、本懇談会において、こんなビル建てるべきだなどと提言するのは無理な話だと思うので、その中に入れてほしいイメージとかを議論するべきではないか。

また、道路体系についても、現状こうじゃないからここはできないということではなくて、市も道路整備をして応援するとか、不足している幅員を少し広げることができないかなど、提案型の前向きな意見で後押しをしていくべきだと思っている。どうしても八王子は中途半端なものができているような気になってしまうのは私だけではないと思うが、反対したから中途半端なものができてしまうということがないようにしなければならない。

それから私も歩くときもあれば車を利用することもあるが今日も仁和会病院の横を抜けてくるときに、そこは車が停車できない幅につくたはずなのに主婦の運転する車が左側に停車していて、主婦と言いかいになり、非常に嫌な思いをした。当初は車を入れさせないとか、幅を狭める等の考えがあったり、また仁和会病院の横をスピードを出せないようにわざと凸凹させたが、今はユニバーサルデザインとして障害者にも優しいまちづくりとの考えで全く逆のことをしており、時代とともにそういう考え方も変わってくるのではないか。

また、自分の移動手段が公共交通機関なのか徒歩なのか車なのかによっても考え方は違う。比較的現地の周辺を歩かれている委員もいると思うし、私も歩いているが、逆に車だと非常に不便だと言われる。この時期は、一番駅の周辺が忙しく混雑している状態だが、上位計画をうまく活用して、かえで通りや東放射線アイロードを併せて整備していけば、すばらしいまちになると思う。

座長：今の2人の委員のご発言に関しては、資料6のまちづくりの考え方に「都市基盤等に関する考え方」「土地利用等に関する考え方」の2つに分かれて記述がされている中に概ね含まれている。「歩行者主体のまちなみづくり」や、「アイロードの歩行環境の改善」「駅からまち中へアプローチする利便性の向上」など、綺麗な言葉ではあるが、このたたき台の中に入っていると考えられる。このほかにまちづくりの視点や考え方として入れておきたいことはないか。

委員：資料6のキーワードはほとんど網羅していてこれらの言葉の中に入ってしまうと思うが、この地域を考えていく上で追加したいのは、産業技術研究センター跡地に様々な機能が入ると思うが、この地域だけで人が滞って分散するというにはならないような形にしたいということである。八王子の中心とは、そこから波及して八王子の周辺市街地も含めて人や文化も流れていくような場所であり、旭町・明神町地区周辺については中心市街地だけでなく、そこから八王子のそのほかの観光地に行くなど、本当の意味での八王子の中心になってほしい。商業、産業等の多くの機能を備えた人が集まる場所であっても、その場所だけで終わると、八王子市そのものが衰退していくような気がする。したがって、コンセプトとしては、広いエリアの中心であり、そこがあって、広いエリアが潤ったり、人が流れていくというイメージとしてほしい。

委員：商工会議所ではその地点を八王子の文化のスタート地点、例えばそこからバスが高尾方面に向かって観光に行くとか、山車を新しくできる広場に集めて、そこからスタートさせるなど、外部への波及効果を含めて検討している。

座長：確かに一つの発信拠点としての役割が伴うことも重要だろう。

委員：今後の検討にあたっては、効果的な波及効果を得るために、参考資料 1 に記載するプロジェクトとの連携を図るほか、周辺の商店街や関係者に計画を浸透させて連携を図っていくことが必要である。

委員：ぜひ新しい広場がその発信拠点となってほしい。

委員：私も、旭町・明神町地区の地区開発に合わせて駅前の商店街が何をしたら良いのかを皆で考えていく必要があると思っている。例えば南口の再開発について子安町や万町地区のまちづくりの考え方や医療刑務所の移転跡地に何ができるのかなどが私には聞こえてこない。旭町・明神町地区についてもその部分の開発だけでなく行政としての周辺のまちづくりの考え方が見えるようにしなければならない。

委員：ゆめおりプランは改定時期にあると思うが、今発言があった場所が新たな上位計画に入らないことはあり得ないだろう。八王子は今これから動こうとしており、本懇談会の議論がきっかけになって、様々な場面で波及効果を及ばせられれば良いと思う。

座長：医療刑務所を含む周辺のまちづくりについては、発表できるようなものはまだないが、UR 都市機構との勉強会を開始している。また、平成 23、24 年度でゆめおりプランの改定を実施する予定であり、ゆめおりプランの中にそれらの内容が含まれる可能性も当然でてくるだろう。

委員：参考資料 1 に示すように駅周辺では中心市街地活性化基本計画策定委員会や北口駅前広場改善検討協議会などの新規プロジェクトがある。本懇談会で駅周辺の課題を全部検討しようとしても無理であり、各プロジェクトと相互に意見を交流し連携をしながら駅周辺全体を考えることとし、本懇談会では旭町・明神町地区周辺まちづくりについて専門的に議論して行くほうが良いのではないか。たとえばコンベンションホールができれば、その後の周辺の食事場所等を PR できるような方法を考えるなど、まち中に人が出て行くような仕掛けの検討も必要だろう。

また、コンセプト案について、これまでの話を私なりにまとめると、八王子らしさを考えた場合、山車や文化伝承会の話があったので「歴史」とか「文化」というキーワードがある。また、商業的な「魅力」や、人が集まる「集い」などもある。それから「情報発信」という言葉もキーワード、コンセプトの中に入ってくるのではないか。また、今の時代は「優しさ」、「思い出」、「エコ」という言葉もキーワードとして検討する必要があるだろうし、それらの言葉は「八王子らしさ」にも少し関係してくる気がする。

座長：本日の懇談会は 3 回のうちの初回としてまちづくり課題等について議論し、皆様からコンセプトのキーワード等をいただいた。また、まちづくりの考え方についても意見をいただいたので、事務局でまとめて次回はコンセプトを議論していただきたい。

5 その他

〔事務局：第 2 回の開催時期について説明〕

次回以降の日程につきましては決定次第ご案内申し上げたい。

今回は、2 月の中旬頃に予定をしている。

6 閉会